

### 【2018年11月10日～2018年11月16日までの推移】

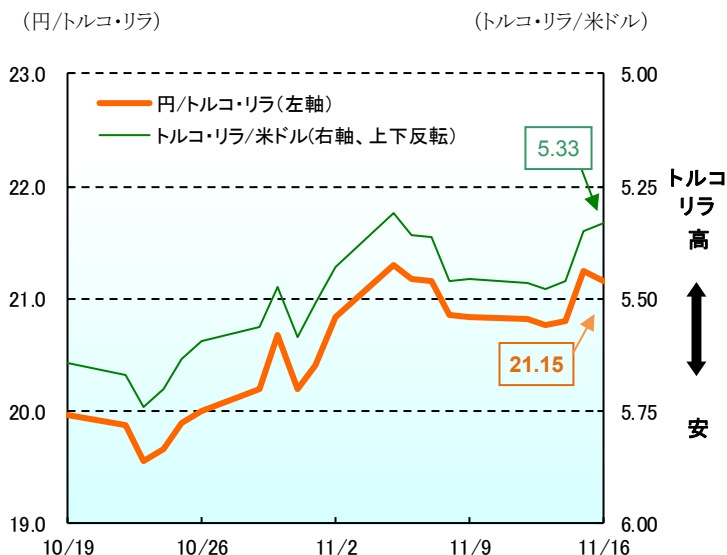
#### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに小幅に上昇しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

先週は市場が欧州のイベントに注目するなか、トルコ・リラの値幅は限定的でした。国債金利はリスクセンチメントの改善が続き、低下しました。

経済指標では9月の鉱工業生産が市場予想を下回りましたが、市場の反応は限定的でした。

【トルコ・リラ 為替推移】(2018年10月19日～2018年11月16日)



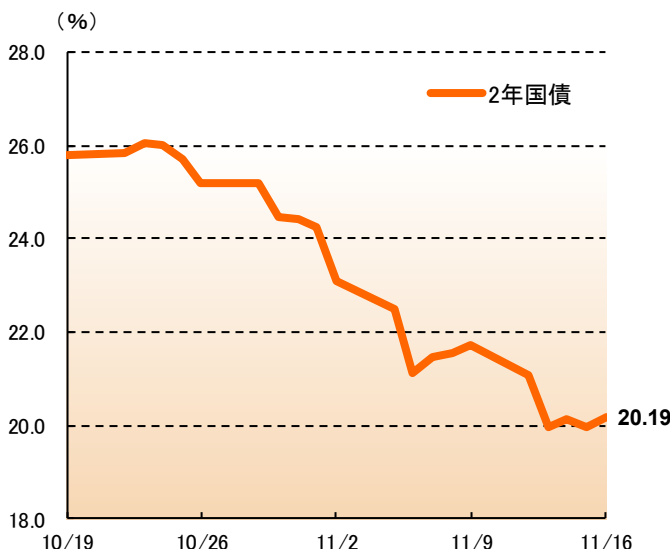
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

#### 【2】今週の見通し

トルコ国内では、内需の鈍化や政府の価格統制によるインフレ抑制効果の確認を待つ局面が続きそうです。対外関係は、サウジアラビア大使館で同国の記者が殺害されたとされる事件についてのトルコ当局の情報提供に関する報道が散見される程度です。目先のトルコ・リラ相場は、市場のリスクセンチメントに左右されるとみえています。

今週は引き続き英国の欧州連合離脱やイタリアの予算案をめぐるニュースフローに市場の注目が集まりそうです。また、米国株の調整やそれに絡んだ市場のリスクセンチメントの動向にも留意したいと考えています。

【トルコ 金利推移】 (2018年10月19日～2018年11月16日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>